

第12号

坂井市農・地・水's - 愛

～ 集落委員会 共同活動紹介 広報誌 ～

九頭竜川鳴鹿土地改良区。鳴鹿大堰から取り入る九頭竜川の清流が坂井・福井の11,642haの穀倉地を潤します。令和4年8月4日の豪雨で除塵機が被災しましたが、土地改良区と国・県・市町の協力・連携で、現在その機能は回復し**農地の未来を潤している**とお聞きしています。

農業と農村は多くの方々のご理解と協力で成り立っています。**関係者の皆様に感謝いたします。**

九頭竜川の清流パイプで運ぶ農業用水



表紙テーマ：**千年用水** (2023/4/11 九頭竜川鳴鹿土地改良区にて)

頁	内容 (令和5年度テーマ：集落活動の後継者)
p 1～p 2	嵩地区農用地を守る会 (三国：加戸地区) 活動紹介
p 3～p 4	かみこもり見守隊 (春江：北部地区) 活動紹介
p 5～p 6	徳分田の美田を創り守る会 (坂井：東十郷地区) 活動紹介
p 7～p 8	坪ノ内区農業保全活動組織 (丸岡：鳴鹿地区) 活動紹介
p 9～p 10	代議員会報告、坂井担い手ネットワークとの意見交換会

嵩地区農用地を守る会

代表 西原 嘉浩

1. 集落委員会の概要

嵩地区は地名の通り三国町の高地に立地し周囲は山や水田・畑に囲まれています。平成21年に国の採択を受けて活動を始めました。区民全員が一丸となり農用地の保全活動に取り組んでいます。

設立	平成21年4月	○役員会は年3回程度
所在地	坂井市三国町嵩	○例年の事業
構成員	農業者16戸、非農業者19戸	・農道補修
対象区域	田1,993a、畑1,168a	・春夏秋の草刈、枝打ち・秋の泥上げ
構成団体	嵩区、実年会、婦人会、こども会	・空き缶、ゴミ拾い
役員構成	委員長1名、副委員長1名、書記1名 会計1名、幹事2名	・景観形成(ひまわりの作付)

2. 集落委員活動でこまっていること

農用地を所有していても農業自体に従事する区民が減っているため、農用地の保全に対する関心が年々薄れつつあります。また高齢化が進んでいるため、機械操作などができる人材が不足することを懸念しています。

3. 後継者育成について、工夫しているところ

コロナの影響で最近では自粛することもあります。左義長や交流会など区民が集まる機会を増やして区民どうしがコミュニケーションしやすい環境づくりに努めています。

また、できる限り若手にも参加してもらい、若手ならではの提案も盛り込めるようにしています。

非農家の方にも空き缶・ゴミ拾いなどに参加してもらい、環境保全活動の理解をいただいています。



4. 集落委員会の活動状況

写真載せる

<p>役員会(年間活動計画)</p> 	<p>農道補修</p> 	<p>農道補修</p> 
<p>枝打ち</p> 	<p>枝打ち</p> 	<p>水路の泥上げ</p> 
<p>草刈</p> 	<p>空き缶・ゴミ拾い</p> 	<p>空き缶・ゴミ拾い</p> 
<p>ひまわりの作付</p> 	<p>ひまわりの作付(看板)</p> 	<p>パイプ内清掃</p> 

5. この事業を通じて・・・

地域の農地を守るとともに景観形成の一環としてフルーツライン沿道のひまわりの植栽を通し当区のイメージアップを図り、若者や観光客が集まるような場所になれば大変有意義な事業になると考えます。

フルーツラインのヒマワリは、お見事です。今後も宜しくお願いします！！

かみこもり見守隊

代表 中嶋 吉英

1. 集落委員会の概要

春江町大石地区の中心部に位置し、大石小学校、大石幼稚園、大石郵便局、大石駐在所、大石コミュニティセンターなどの公共施設が有り、周囲は田んぼに囲まれ、自然豊で住みやすい環境にある地区です。元集落23戸、新興住宅34戸の計57戸からなり、設立当初から、**地域の区民全員が参加する活動**を行ってきました。

設立	平成19年4月	対象区域	田 2,889 a
所在地	坂井市春江町上小森	対象施設	水路 11.5km 農道 3.9km
構成員	70名	活動内容	総会 委員会 集落対策会議
構成団体	上小森区、農家組合、女性の会		花壇整備 防草シート貼り
役員	代表1名		排水路清掃 暗渠排水清掃
	副代表2名(区長、農家組合長)		空き缶・ゴミ拾い 草刈り
	書記1名 会計1名		機能診断 異常気象見回り

2. 集落委員会活動で困っているところ

農作業を生産組合に委託することによる**農業者の減少や、構成員の高齢化、コロナ禍での活動への参加者の減少**など、活動離れが少しずつ進んでいます。また、資源向上による長寿命化事業に取り組んでいますが、排水路法面の陥没などが目立ってきています。

コウノトリ営巣 (令和元年)

3. 後継者育成について

農地を含めた自然環境に対する理解と関心が薄れていく中、共同活動として実施している花壇整備やシバザクラ植栽等の環境保全活動や、空き缶・ゴミ拾い、防草シート貼り、そして、**農地維持活動として実施している排水路清掃活動等への参加を区民全員に呼びかけています。**また、**子供会、壮年会等の団体にも働きかけ**を行っていきたくと思っています。



4. 集落委員会の活動状況

花苗植栽 (ヒヤクニチソウ)



花壇除草



ユリの花



防草シート貼り



シバザクラ植栽



シバザクラ開花



排水路泥上げ



橋下等泥上げ



泥上げ活動開始



暗渠排水清掃



圧洗浄機



陥没修復作業



空き缶・ゴミ拾い



集落対策会議



総会



5. この事業を通じて

排水路の清掃で、橋下等の泥上げを業者へ委託したことにより、よりずいぶんと楽になり、非常に助かっています。また、自分たちの手で自然環境を守っていくことの大切さを実感してもらい、区民のコミュニケーションの場として活動していきたいと思ひます。

徳分田の美田を創り守る会

1. 委員会・集落の概要

当地区は坂井町の嶺北縦貫道路の東長田交差点からカントリーエレベータの間に位置し、道路の東側に集落があり西側には水田が広がっています。

約50戸集落で**以前は集落の大半が兼業農家**を営んでおりましたが、集団化等により**農業従事者は法人と認定農家だけ**になり農作業に従事しているのは10名程度となっています。

そのため、**今後は農業従事者以外の区民が中心となる集落委員会の活動が重要**となっています。

設立 構成員 活動面積 活動施設 構成団体	平成20年 63名 60ha 用排水路、農道 壮年会、老人会、婦人会	役員 主な活動	代表1名、副代表1名、委員7名 ・役員会 ・施設点検 ・排水路の泥上げ ・農道と水路の草刈 ・空き缶、ゴミ拾い
-----------------------------------	--	------------	--

2. 集落委員会で困っているところ

集団化等により、**地主の方が自主的に農地回りに手をかけることがなくなってしまい**、以前はきれいに手入れされていた畔畑に雑草が生い茂り、道路から投げ捨てられたごみや空き缶が長い間残っているなど、**農地まわりの管理に目が行き届いていない状況**がみられるようになりました。

そのため、農業従事者の手が回らない場所について草刈作業等の活動をしていますが、**勤めなどの関係で作業ができる区民が限定**され、また高齢化が進行し、年々、参加人数が減少してきています。

3. 後継者育成について

現在、主に活動しているのは50代、60代の区民ですが、30代以下の若年層や女性、子供にも参加していただけるような活動の内容としていかなければ**将来的にはこの活動の後継者いなくなる**ことが予測されます。

しかしながら、近年、空き家となった住宅の解体跡地に、地区外から数家族が住宅を新築して移り住んできました。当地区も限界集落となることが懸念されていたところに、**思いがけず若年層の人口増加となり、これから新しい仲間として一緒になって活動を盛り上げていけることを期待**したいと思います。

役員会



江堀作業 (その2)



排水路草刈



施設点検 (その2)



総会



草刈作業 (その1)



空き缶・ごみ拾い



施設補修 (その1)



江堀作業 (その1)



草刈作業 (その2)



施設点検 (その1)



施設補修 (その2)



4. この事業を通じて

この事業を通じて、老朽施設の改修や草刈等の環境保全活動をしてきましたが、**現在は一部の区民の活動にとどまっている**と思います。

他の地区の好事例も参考にして、**区民全員が地域の環境保全の意識をもって景観を創り守って行きたい**と思います。

坪ノ内区農業保全活動組織

代表 田中 栄治

1. 集落委員会の概要

当坪ノ内区は丸岡町鳴鹿地区の西端に位置し、集落の南側、西側は永平寺町に隣接しており、近くには福井大学医学部附属病院があり、周辺は田んぼに囲まれた自然環境豊かな住みやすい環境にある地域となっております。



設立	平成19年4月	○活動内容 ・施設の点検と機能診断 ・水路の泥上げ ・水路の目地修繕等 ・草刈り（農道、排水路周辺） ・道路周辺のごみ拾い ・景観形成活動：水路泥上げ部花壇植栽 ・法面防草シート張り及び管理
所在地	坂井市丸岡町坪ノ内	
構成員	32世帯 農家26世帯 非農家6世帯	
活動面積	22.9ha	
活動施設	農業用パイプライン、排水路、農道	
構成団体	坪ノ内区、子供会、老人会、 スポーツクラブ「壮年会」	

2. 集落委員会で困っているところ

集落委員会設立以来、高齢者世帯の死去に伴い集落世帯数の減少がつついており、**今後ますます集落世帯の減少が予測**されており、このままでは、**集落委員による生活基盤施設、農業基盤施設の維持が困難な状況になると想定**されます。

※設立当初「平成19年」 36世帯 → 現在「令和4年」 32世帯

3. 後継者育成について

当地区も世帯の高齢化や世帯減少に伴い、耕作できない農地が増えてきていますが、「**地域の農地は地域で守る**」との考えのもと、**効率の悪い小さい水田や形の悪い水田でも、坪ノ内農業生産組合で委託を受け耕作放棄地が発生しないよう、当区の農業生産組合には尽力**いただいております。

地区の農業生産組合のおかげで、地区内の耕作放棄地は発生しておらず、地区外方への作業委託する事例は発生しておりません。

4. 集落委員会の活動状況

施設の点検



機能診断



水路補修



施設の点検



草刈り



草刈り



水路の泥上げ



水路の泥上げ



植栽活動



植栽活動



参加状況



集落周辺ごみ拾い



5. この事業を通じて

当地区の方々は、もともと地域活動に積極的に参加いただいておりますが、この事業を通じ、集落の皆さんが集まり、作業する機会が増えたことにより、益々地域のつながりが強くなったと感じております。

高齢化や世帯数の減少など問題はありますが、自分たちの地域は、自分たちで守るとの考えで、今後もこの事業を継続していきたいと考えております。

第2期 代議員総会 ハートピア春江大ホール (2023/3/6)



出席者数 代議員 110人
参加者 315人 (代議員含)

議案第1号 坂井市農地水広域協定書の議決について	...	議決
議案第2号 坂井市農地水広域協定運営細則の議決について	...	議決
議案第3号 坂井市農地水広域協定の事業計画について	...	議決
議案第4号 坂井市農地水広域協定事務局経費について	...	議決

今後も宜しくお願いします。



池田市長あいさつ



実務者の皆さん

一般社団法人 坂井担い手ネットワークとの意見交換会 (2023/4/10)



制度背景 (多面的機能支払交付金の)

担い手に集中する水路・農道等の管理を地域で支え、農地集積を後押しします。

参加者

坂井担い手ネットワーク

坂井市 (農業振興課)

坂井市農地水広域協定 (会長、顧問、事務局)

主な意見

- ・ 集落事務が困難との思いが、一部で活動の広がりを見せないのではないか。
- ・ 新たな集積集落は、多面的機能交付金制度への加入が少ないように感じる。
- ・ 中間管理機構への集積で、農地法面管理等の役割を組み入れられないか。
- ・ 今後の集積受託は、法面管理等の地域協力がないと集積自体が困難。

意見交換会から感じたこと

令和5年3月6日の代議員会で、広域協定書の参加団体の承認をいただきました。多面的機能の更なる発揮と共同活動の拡充を目指し、意見交換会を行いました。今般は、第1弾として、「一般社団法人 坂井担い手ネットワーク」と意見交換会を行い、貴重な意見を頂き、改めて農地集積に関し共同活動の重要性を感じさせていただきました。

農業と農村を未来へ繋ぐ共同活動に感謝いたします。



パイプラインモニュメント（九頭竜川鳴鹿土地改良区 2023/4/11 撮影）



日本最大級のパイプライン（鳴鹿土地改良区 2023/4/11 撮影）



取水口（鳴鹿土地改良区 2023/4/11 撮影）

九頭竜川下流地区は、九頭竜川の両岸にまたがる坂井・福井平野に位置し、水稻を中心とした県内有数の農業地帯を形成しています。この地域の農業を支える基幹的な農業用水路は完成後、相当の年数が経過していることから老朽化が進行していました。

このような中、国営九頭竜川下流農業水利事業が平成11年度に着工し、既設の農業用水路をパイプライン化することで、用水不足や塩水遡上による塩害が生じていた農地に新たに農業用水を供給するとともに、地形の高低差を利用した自然圧により農業用水を送水することで、水管理労力の軽減等をはじめ、パイプラインが持つ潜在能力の顕著化や地域用水の機能増進が図られています。

発行：坂井市農地水広域協定（坂井市役所内）

坂井市坂井町下新庄 1-1

☎0776-67-2351